

令和4(2022)年度 第2回学校運営評議会 議事録

1. 日 時 令和4(2022)年9月21日(水) 14時30分～16時30分
2. 場 所 栃木県立那須高等学校 会議室
3. 出席者 委員10名、栃木県教育委員会事務局3名、本校職員8名、
コーディネーター3名、オブザーバー、茂木高校職員、報道関係者

4. 司 会 本校教頭

5. 次 第

- (1) 開会
- (2) 学校長挨拶
- (3) 栃木県教育委員会挨拶
- (4) 委員紹介・出席者 (資料 pp. 1～2 参照)
- (5) 議事 (下記 6. のとおり)
- (6) その他
- (7) 閉会

6. 議事

- (1) 学校概況報告(資料 pp. 3～7 参照)

* 一日体験学習の生徒発表 DVD 鑑賞

- (2) 総合的な探究の時間について

* 主幹教諭、コーディネーターより説明

[委員より意見・感想]

- ・生徒一人ひとりが真剣に取り組み、聞く姿勢がとても良い。
- ・「伸びしろのある生徒」が多く、これからが楽しみ。
- ・人物図鑑インタビューについて、生徒自身が下調べや下準備をしており、インタビューからの質問にも良く答えられていて感心した。
- ・インターンシップに参加した生徒の中に、将来の展望を見据え参加している生徒がいて、自分の夢を持って参加していることを素晴らしく思った。
- ・人物図鑑作成は、生徒自身の自信につながり、また、那須高校に興味を持ってくれる大人、那須高校のファンが増えることにもつながる。
- ・地域に貢献できる子どもが育つ。
- ・生徒たちが生き生きとして、輝かしい。卒業生を後輩がインタビューすることで得ることも多いのではないかな。
- ・人物図鑑が出来上がった後のつながりが薄い。生徒がどのような気持ちで作成に携わったのかを知りたかった。
- ・人物図鑑作成を通しての生徒の変容をまとめて欲しい。

(3) その他

[委員より意見・感想]

- ・「多様性に対応できる生徒の育成」、「発想力を高める授業の展開」に力を入れてほしい。
- ・学校存続のために抜本的な方法を考え、運営員としてどう関わっていくのかを考えていく必要がある。
- ・振り出しに戻り、どこに焦点を当てるのかを考え、運営員自身が自分たちで動く必要がある。半年の間に具体的な策を考えなければならない。
- ・熟議、協同、マネジメントを三本柱とし、持続可能な組織作りをしなければならない。学校の特色をきちんと引き継いでいけるよう、ヴィジョンを明確にする必要がある。
- ・町と行政の一体化を図る。
- ・子どもたちに町の良さをアピールする必要がある。
- ・運営協議会 3 年間の検証をし、翌年度以降に引き継ぎ、定期的に情報交換を行う。
- ・町と高校生とのコラボレーション希望。高校生が楽しみながら学習できる活動を取り入れて欲しい。